

当初予算審査特別委員会
委員長
飛賀貴夫 議員

令和3年度予算を徹底審査

当初予算審査については、議長を除く議員全員による当初予算審査特別委員会を設置し、活発な質疑を行いました。主な質疑を要約してお知らせします。

一般会計

問 ふるさと納税事業支援業務の委託内容は、

答 今年の寄附金額は大きく伸びた。さらに上昇させるために、返礼品の質の向上、新たな返礼品の開発、写真の見せ方などに取り組んでいかなければと考えている。

問 また、委託業者については実績のある業者に手を挙げてもらえるような公募をしたい。

答 業者選定を公募によるプロポーザル方式で

行い、競争が働いたため減額となった。

問 そのほか、業者提案により紙面のフルカラーが可能となった。

答 令和3年度50%の目標は達成できる予定。

問 令和3年2月に開始したコンビニ交付サービス事業の利用目標を達成するための具体的な施策や周知は、

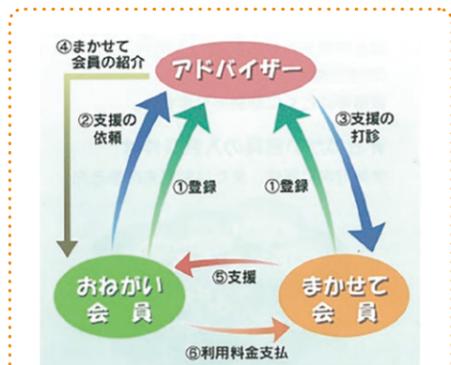
答 コンビニ交付サービスを今年2月から開始。交付対象は住民票の写しと印鑑登録証明書の写し。

問 2月の1か月間で住民票の写しを59通、印鑑登録証明書

の写しを26通交付した。コンビニ交付利用の数値目標は、年間の証明書の総交付数2万8千通に対し、その10%の2800通を目標としているが、マイナンバーカードの普及が大前提となるため、広報誌やホームページ、窓口でPRしていく。

問 子育て世代が利用するファミリィ・サポート・センター事業において、コロナ禍の利用状況は、

答 平成31年度79回、令和2年度2月までで35回、前年度と比較すると、半数程度、減少している。



ファミリィ・サポート・センターでの研修

問 子育て世代が利用するファミリィ・サポート・センター事業において、コロナ禍の利用状況は、

答 平成31年度79回、令和2年度2月までで35回、前年度と比較すると、半数程度、減少している。

ファミリィ・サポート・センターとは
子育ての支援を受けた人(おねがい会員)と、子育ての支援ができる人(まかせて会員)が会員登録をし、相互支援活動(有料)を行う。センターでは専任アドバイザーが会員間の橋渡しを行う。

問 福祉巡回バスの運行の見直しは、

答 令和3年度中に、何らかの対応策を示すため、現在、検討を進めている。

問 令和3年度中に、何らかの対応策を示すため、現在、検討を進めている。

問 令和3年度中に、何らかの対応策を示すため、現在、検討を進めている。

答 令和3年度中に、何らかの対応策を示すため、現在、検討を進めている。

問 令和3年度中に、何らかの対応策を示すため、現在、検討を進めている。

答 令和3年度中に、何らかの対応策を示すため、現在、検討を進めている。

問 令和3年度中に、何らかの対応策を示すため、現在、検討を進めている。

答 令和3年度中に、何らかの対応策を示すため、現在、検討を進めている。

問 令和3年度中に、何らかの対応策を示すため、現在、検討を進めている。

答 令和3年度中に、何らかの対応策を示すため、現在、検討を進めている。

当初予算審査特別委員会 特別会計

後期高齢者医療会計

問 徴収について、国民健康保険税のように収納委託をしないのか。

答 後期高齢者医療の収納業務についても、委託している。費用は一般会計で計上すべきものとなっている。収納率は81・11%、前年同月では80・55%。

問 年収によって窓口負担が1割から2割負担となるが医療費削減に向けた町の対策は、

答 乳幼児から高齢期まで切れ目なく、食生活や生活習慣の改善による健康増進を図っていく。

問 1割負担、3割負担の被保険者数は、

答 被保険者の総数が4307人、3割負担が196人、1割負担が4111人。(全員賛成で可決すべきものと決定)

後期高齢者医療制度の財源
医療にかかる費用は患者負担を除き、75歳以上の後期高齢者の保険料(約1割)、現役世代からの後期高齢者支援金(約4割)及び公費(約5割)で賄われている。

国民健康保険会計

問 コロナ禍での新年度の収納をどのように維持するのか収納対策本部長の見解は、

答 現年度分の徴収に力を入れていく。コロナ対策のいろいろな制度もあり納税者と状況をよく話し合った上で適切な徴収を行っていく。

問 レセプト点検事務委託手数料の内容は、レセプトをすべて点検しているのか。

問 3年間複数数年契約の予定。委託内容は、レセプトの内容の点検と再審査請求の業務、過誤処理など。年間14万6千件の見込みで、全件点検している。

問 出産育児一時金が予算減になった要因は、

答 社会保険適用の拡大により国保の加入者が減っていることが影響している。

問 特定健診の受診について、令和2年度の減少率は、令和3年度の見込みは、

答 平成31年度は1452人、令和2年度は834人42・6%減。令和3年度は平成31年度の実績まで回復させたい。(全員賛成で可決すべきものと決定)



特定健診車

上水道事業会計

問 一本松公園の岩盤地下水「河原のしずく」の年間収入の目標は、また、施設設置費、年間の維持管理費は、

答 年間収入は200万円を目指している。施設の設置は1600万円、年間の維持管理費はメンテナンス料41万4千円、電気代12万円、水質検査5万円がかかる見込み。

問 水道管の改修が完了したとびだけ団地、現在実施中のひばりが丘団地、それ以外の30年以上経つ新興住宅地の水道管の改修計画は、

答 40年超えたら補助金の対象となるため、ガス管同時施工と勘案しながら実施していく。

問 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は水道料金の減免に充当できないのか。

答 今後は、町民の負担を軽減するためにも検討。(全員賛成で可決すべきものと決定)

下水道事業会計

問 下水道計画区域に障子岳3丁目指定された理由は、

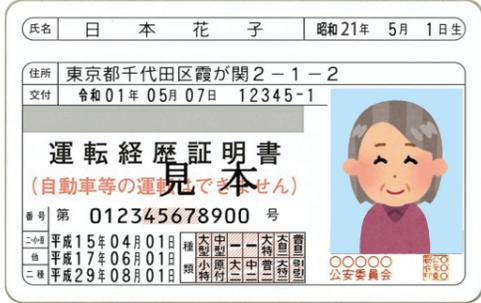
答 当時の事業計画が839ha、供用開始面積が669・8ha、残り169haの中で、建物があり水洗便所に改造してもらえる可能性が高い、汲み取りトイレや単独浄化槽がある地域ということで障子岳3丁目選ばれた。

問 貴船4丁目地区の下水道計画区域の事業計画は、

答 令和4年度に実施設計、令和5年度に工事施工。(賛成多数で可決すべきものと決定)



下水道計画区域図



運転免許証を自主返納した証明書

問 運転免許証を自主返納した証明書の見直しは、

答 当町は、まだ行っていない。今後、先行自治体の考え方や対策等を十分参考にしながら、一定の結論を早いうちに打ち出したいと考えている。

問 自動車運転免許証の自主返納者に対する支援策は、

答 当町は、まだ行っていない。今後、先行自治体の考え方や対策等を十分参考にしながら、一定の結論を早いうちに打ち出したいと考えている。